

授業 科目名	【Gカリキュラム】 プレゼミⅡ 【EFカリキュラム】 プレゼミⅡ	必修	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	現代社会の動きを知る	担当者	百花草 浩治			
授業概要	<p>【概要】 新聞記事を全員で読むことを通じて、現代社会の動きを知り、また、その背景事情に迫る。</p> <p>【到達目標】</p> <p>① 毎日、新聞を読む習慣を身につける。 ② 社会の動きに関心を持つことができるようになる。 ③ 社会で日々、起こる出来事の背景事情に関心を持つことができるようになる。</p> <p>以上の3点を目標としたい。</p>					
履修条件	特になし。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 特に指定しない。</p> <p>【参考書】 いわゆる全国紙。および、その縮刷版など。</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	<p>【1回目～4回目あたり】 1週間の新聞記事の中から、いくつかを選んで全員で読む。</p> <p>【5回目あたり～10回目あたり】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介する。なぜ、その記事に関心を持ったのかについても、あわせてコメントをする。</p> <p>【11回目あたり以降】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介するだけでなく、加えて、その背景事情などについてもできる限り自ら調査をし、わかりやすく説明する。 他の参加者は、それに対して、その説明においてわかりにくい点などを質問する。</p>					
予習 復習 内容	<p>特に、復習をしっかりともらいたい。 授業内容を整理・確認したうえで、何らかの疑問が出てこれば、自ら調べる、あるいは、次回の授業でぜひ質問してもらいたい。</p>					
評価方法	授業への取組状況全体を総合的に評価する。（自己の発表担当回50%、それ以外の回50%）					
評価基準	<p>原則として、全15回のうち、80パーセント以上の回に出席していることを単位認定の前提とする。 担当したテーマにつき、よく理解し、自己の見解を適切に表現できた者についてはその程度に応じて「S」または「A」とする。 理解度や表現内容がなお十分とはいえない者はその程度に応じて「B」または「C」とする。 担当したテーマにつき、理解の度合いや報告内容が最低限度に達していない者については、その程度に応じて「D」または「E」とする。 欠席回数が著しく多いなど、評価不能な場合には「F」とする。</p>					
その他	※G 刈：法【必修】 球【必修】 情【必修】 / EF 刈：法【必修】 球【必修】 経【必修】					